

【公表】事業所における自己評価総括表(児童発達支援)

○事業所名	スタジオそら鶴見		
○保護者評価実施期間	2025年 11月 10日 ~ 2025年 11月 30日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	20 (回答者数)	15
○従業者評価実施期間	2025年 11月 13日 ~ 2025年 11月 30日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7 (回答者数)	7
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 1月 17日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個別療育という支援方法で、お子様一人一人にあったプログラムを組み立ててマンツーマンの支援を提供していることです。	日々のお子様と保護者様とのコミュニケーションや活動をしている中でお子様の興味・関心を探し、楽しく活動に参加ができるように工夫しています。また、年齢・発達段階、個人の得意・不得意から一人一人にあった支援を考え、成長に繋げられるようにと考えています。	引き続き、保護者様とのコミュニケーションをフィードバック時以外にも積極的にとり、お子様への理解を深められるように努めていきます。スタッフ間での情報共有を丁寧に行い、一歩ずつの成長を伸ばしていけるようにスモールステップをスタッフ全員で繋げていけるようにします。
2	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境、こども達の活動に合わせた空間となっていることです。	毎日の清掃にて、裸足で活動に参加されるお子様にも快適にご利用いただけるように清潔を保てるように心がけています。また月に一度クレンネスの日を設け、チェックシートを活用し、電子機器や空調・細かい部分の清掃も行っています。	引き続き、快適にご利用いただけるように清掃を行います。また、道具の整理整頓等も行い、お子様が過ごしやすい環境づくりを行います。経年劣化等もお子様にも安全にお過ごしいただけるよう早めに処置をいたします。
3	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしていることです。	限られた空間ではあるが、フィードバック等でのお子様の情報をお話する際は、利用者様同士の距離を確保するようにしています。一定の距離を作ることで話しやすい空間づくりを意識して行っています。	今後も、可能な限り配慮をし、安心して通所いただけるように心がけます。事前の打ち合わせ時に、距離を確保できるようにスタッフ全員で使用する位置の共有を行います。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	フィードバックの内容精査・相互理解ができていないかの確認が毎回行えていないことです。	フィードバックの際に支援計画の項目と合わせて、本日のお子様のご様子についてお伝えする等行っていますが、フィードバックの時間が短時間のため、利用者様とスタッフ間で説明内容の相互理解ができていないかの確認が足りていないことがあります。	説明後、共通理解ができていないかの確認を行うよう心掛けていきます。また、どのスタッフからでも支援の内容・意図が利用者様に簡潔に伝わるよう、スタッフの指導・育成を行っていきます。
2	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境、また事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への適切な配慮が課題だと思えます。	お子様に分かりやすいように各部屋に扉・張り紙があり、構造化された環境づくりを行っています。一部建物の構造上、バリアフリーとはいえない箇所もあります。掲示物について、保護が足りておらず劣化が見られる部分があります。	お子様との活動の際に配慮が必要な場合は、スタッフが様子を見てお手伝いをし、安全にお過ごしいただけるように配慮をいたします。掲示物の劣化については、定期的に確認をし、更新・処置をいたします。
3	ご家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)やご家族が参加できる研修などの情報提供を行っていないことです。	家族支援プログラムの体制は整っていません。そのため、個別に相談や助言等の支援をおこなっていません。	プログラムとしてのペアレントトレーニングは現在実施していないため、今後保護者ニーズを把握し必要に応じて検討いたします。

【公表】保護者等からの事業所評価の集計結果(児童発達支援)

事業所名	スタジオそら鶴見
------	----------

公表日 2026年 3月 1日

利用児童数 20 回収数 15 回収率 75.0%

	チェック項目	回答				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	13	2	0	0	・人数に対する広さは十分だと思う。 ・子どもによって走り回ったり、部屋から出てきたりするため、複数人が同じ部屋で活動をするときは、やや狭い。	各部屋やスペースの使い方を工夫しながら、安全に配慮した効率的な活動が実施できるよう努めてまいります。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	15	0	0	0	・マンツーマンで手厚く対応していただいている。 ・先生方の異動があるので先生のレベルのバランスが気になる。	法令上の配置基準を満たしております。職員の欠動がある際も対応できるよう、社内で連携しております。
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	11	3	0	1	・小部屋と大部屋がドアで仕切られているのでわかりやすいと思う。 ・場所案内の掲示物が偏っていることは見受けられる。	事業所内の構造化に努めております。建物の構造上、バリアフリーではない箇所がございますので、何かお手伝いが必要な場合はお気軽にお声がけください。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	13	2	0	0	・夏場はエアコンのにおいが気になることもある。 ・清潔感を感じている。	引き続き、清潔で心地よく過ごせる環境を目指します。
適切な支援の提供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	13	2	0	0	・こちらの要望も適切に聞いてくださり、それを元に療育を実施していただいている。 ・フィードバックの内容を、子供の様子により分かりやすいように、またやった事の羅列にならない様に、やった事の話漏れがないように、もう少し具体的にこなってほしい。	社内研修の充実を図り、より支援の質を向上できるような努めてまいります。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	15	0	0	0	・運動支援が主で認識の齟齬なし。 ・広い空間で走り回って楽しそう。	HPIにて支援プログラムを公表しております。お子さま一人ひとりに合わせた支援ができるよう努めてまいります。
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画(個別支援計画)が作成されていると思いますか。	13	2	0	0	・生活の困りごとを聞いてくれ、プログラムに取り入れてくれている。 ・計画書以外で療育後のFBはあるが、その際にこちらが普段気が付かない子供が何が苦手なことで今後こうしていきたいような提案が少ないかなと感じる。	引き続き、保護者さま・お子さまのニーズを聞き取り、必要な支援ができるよう支援計画の立案を行います。
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	11	2	0	2	・ガイドラインそのものの理解が足りず判断つかないが、支援内容は適切と感じている。 ・ガイドラインに落とし込むのは大変そう。	より良い支援ができるよう、お子さまに必要な支援内容について具体的に設定できるよう努めてまいります。
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	14	1	0	0	・計画に対しての進捗が分かりにくい部分がある。 ・支援に沿って療育を行なっている。	打ち合わせや振り返りを行い、より充実した支援ができるよう努めてまいります。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	14	1	0	0	・イベントを開催してくれるので、本人の興味にあわせて参加でき、体験を積むことができています。 ・毎回集団活動内容が新しく感じる。 ・集団での取り組み(そら参観)が固定されているように感じる。	引き続き、お子さまの状態にも寄り添いながら、目的や意図に応じてプログラム内容を検討・実施してまいります。
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他の子どもと活動する機会がありますか。	4	5	3	3	・現時点ではそのような活動は希望していないため、問題はなし ・やっているかどうか分からない。	ニーズが少ないため事業所内での交流はございませんが、今後必要に応じて検討いたします。
保護者への説明	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	15	0	0	0	・色々質問しやすかったし、丁寧に教えてもらった。 ・通所前に説明いただいた。	引き続き、丁寧で分かりやすい説明に努めてまいります。
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	15	0	0	0	・十分に説明された。 ・ご丁寧な説明があった。	引き続き、面談の際に丁寧な説明を心がけてまいります。
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	6	4	1	4	・掲示物やそら主催の講演会案内はメールでいただくこともあるが、直接家族支援と結びつかると言われると多くないと思う。 ・家族支援プログラムはあんまりうかがったことがありません。	プログラムとしてペアレントトレーニングは行っていませんが、ご相談等ある場合には個別に対応しております。今後も、何かございましたらお気軽にご相談ください。
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	14	1	0	0	・活動のフィードバックの際に、日常の困りごとや気になっていることを相談している。 ・毎回ご丁寧な説明をしてくださっている。	フィードバックの時間を設けておりますが、それ以外でも何かございましたらお気軽にご相談ください。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	9	4	0	2	・面談や相談できる時間がもう少しあると嬉しい。 ・定期的に面談あり。	支援計画の更新に合わせて、定期的に面談を行っておりますが、それ以外でも何かご相談がある際など、お気軽にお声がけください。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	14	0	0	1	・職員の皆さんは良い人ばかり。 ・ご丁寧に説明くださる。	引き続き、ご家族やお子さまの状況に寄り添った支援ができるよう努めてまいります。

説明等	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	1	3	3	8	・支援は特に無いかなと思うが、障害程度合いも人によって異なるので、絶対必要には感じない。 ・参加意向がないのでわからない。	ニーズが少ないため実施はございませんが、今後必要に応じて検討いたします。
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	9	1	0	5	・今後相談して行きたいと思う。 ・特にそう言った相談はしたことがない。	お気軽に相談いただけるような環境を整えることを意識しております。お話しいただいた内容につきましては迅速かつ適切に対応できるよう努めてまいります。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	14	0	0	1	・フィードバックは複数人同時間実施でも場所が分けられている。 ・チラシが多く貼ってある。	今後密接に連携が取れるよう、コミュニケーションを取ってまいります。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	11	0	0	4	・メールにて発信あり。	HPIに「そら通信」を掲載し、事業所の活動紹介や、自己評価結果の発信を行っています。今後も周知に努めてまいります。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	14	0	0	1	・特になし。	引き続き、個人情報の取り扱いについて十分に留意してまいります。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	12	2	0	1	・参加したことのあるものとそうでないものがある。 ・避難訓練はあるが、マニュアルの周知徹底はいまひとつかもしれない。	各種マニュアルは待合室に備え付けてあります。また、避難訓練に加え、感染症や防犯なども職員間でシミュレーション訓練を行っています。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	13	1	0	1	・参加したことがある。 ・特になし。	定期的に避難訓練を実施しております。会員の皆様にも参加のご協力をお願いいたします。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	13	1	0	1	・裸足になる事業所も多いが、室内履きを履いて支援を受けられるところが良い。 ・問題なし。	安全管理計画を策定し、社内で研修を行っています。何かお知らせすべき事項がある際は、掲示やメール等で周知しております。引き続き、安全に留意し支援を行ってまいります。
	26	事故等(怪我等を含む。)が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	10	1	0	4	・小さな怪我でもきちんと教えてくれる。 ・事故の経験がないため分からない。	事故対応について、マニュアルに定め社内で周知しております。事故発生時には迅速かつ適切な対応に努めてまいります。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	15	0	0	0	・マンツーマンで手厚くサポートしてくださっていて心強い。 ・通所が好きだと言っている。	お子さまが安心して過ごせるよう努めてまいります。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	13	2	0	0	・靴を脱いだら楽しそうに走り込んでいく。 ・基本的には楽しいと言っている。	お子さまが楽しんで活動に参加できるよう努めてまいります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	13	2	0	0	・恐らく、行われている支援に不足はないと思うので、フィードバックの改善や個別の子供への対応に関し具体的に対処案などが提示してもらえれば、より安心感を持ってお任せできると感じる。 ・全体としてはとても満足していますが、そら参観の在り方だけは再考いただきたい。	今後とも事業所の運営・支援にご満足いただけることを目指し、スタッフ一同尽力してまいります。

【公表】事業所における自己評価(児童発達支援)

事業所名		スタジオそら鶴見		公表日		2026年 3月 1日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7	0	事前に打ち合わせを行い、最も効果的かつ効果的な活動を検討しております。	今後もスペースの有効活用を心掛けていきます。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6	1	予約に応じて配置人数の調整を行っています。	法令上の基準は満たしているため、今後も職員のスキルアップに努めてまいります。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7	0	視覚補助を用いるなど事業所内の構造化に努めています。情報伝達についてもカードやハンドサイン等を活用し、配慮を行っております。	引き続き子どもたちが分かりやすくかつ過ごしやすい構造化された環境を目指し、適切な配慮を行ってまいります。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7	0	毎日の清掃の他、毎月のクレンリネスチェックで点検を行っています。	引き続き環境整備に努めてまいります。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7	0	プログラム内容やお子さまの状況に合わせて、適宜部屋を分けて使って活動しています。	引き続き環境整備に努めてまいります。	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	7	0	療育前の打ち合わせ時や終礼時に職員間でお子様情報を共有しています。必要に応じてスタジオ会議を開催し、ケース検討や研修に取り組んでいます。	引き続き、より良い支援ができるように努めてまいります。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	保護者評価を実施しています。頂いた評価やご意見を元に職員間で話し合い、改善につなげています。	職員全体で保護者ニーズを把握し、引き続き改善に向けて努めていきます。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	日々の朝礼・終礼やスタジオ会議等、職員間で話し合い、改善につなげています。	引き続き、より良い支援ができるように努めてまいります。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	5	第三者評価は行っていません。	必要に応じて実施を検討いたします。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	1	全社員での研修や、社内研修、スタジオ内研修、また社内サイトやマニュアル等により、学びの機会を常に設けております。	引き続き社内研修や社外研修に積極的に参加し、学びの機会を確保してまいります。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7	0	ガイドラインに基づき支援プログラムを作成し、HPにて公表しております。	引き続き、より良い支援ができるように努めてまいります。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	7	0	社内独自のアセスメントツールを用いて子どもの課題を分析しております。	引き続き、より良い支援ができるように努めてまいります。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7	0	複数の職員でケース会議を行い、作成しております。	引き続き、より良い支援ができるように努めてまいります。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7	0	支援計画に沿った活動を行うよう、研修や育成を行っております。	引き続き、より良い支援ができるように努めてまいります。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7	0	社内独自のアセスメントツールの活用その他、日々の行動観察や保護者からの聞き取りをもとに行っています。	引き続き、より良い支援ができるように努めてまいります。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のわらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7	0	ガイドラインに沿って、必要な支援や目標の設定を行っています。本人支援だけでなく、保護者や園・学校等に関しても必要に応じて対応しています。	引き続き、より良い支援ができるように努めてまいります。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7	0	打ち合わせを行い、目標の達成状況を確認して方針を決めています。前回担当者との共有も話し、話し合いながらプログラム内容を決めています。	引き続き、職員間で意見交換をしながら、プログラム立案が行えるようにしていきます。	

	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。			前回の内容なども振り返りながら、飽きないよう楽しく取り組める工夫をしています。	固定化が必要な内容については意図的にを行い、お子さまが楽しく活動できるよう工夫してまいります。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせで児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	7	0	基本は個別療育を中心に取り組んでいますが、本人やご家族の方からの要望に沿って、集団活動の目標を設定しています。	今後も必要に応じて適宜集団活動も提案し、計画に沿った支援ができるよう取り組んでいきます。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7	0	朝礼・昼礼を行い、振り返りや注意事項などを共有しています。	今後も綿密な打ち合わせを実施し、支援に活かしてまいります。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7	0	終礼時に活動の報告、振り返り、保護者と話した内容などを共有しています。	今後も綿密な打ち合わせを実施し、支援に活かしてまいります。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7	0	支援手法や達成度が分かりやすいように留意しながら記録を取っています。	社内独自の手引き等を活用し、適宜記録の記入方法等を確認できるようにしてまいります。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7	0	支援計画の更新時や、その他必要に応じて適宜モニタリングを実施しております。	より広く職員が参画できるよう、事前に計画を立ててモニタリングを実施してまいります。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	1	児童発達支援管理責任者を中心に参画しております。必要に応じて他の職員も参画できるよう調整をいたします。	内容については事業所内で共有を行ってまいります。
	25	地域の保健、医療(主治医や協力医療機関等)、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	1	必要に応じ、相談支援事業所や他事業所、通園通学先と連携を取っております。	内容については事業所内で共有を行ってまいります。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6	1	保護者要望に応じて適宜連携を図っております。	より積極的な連携を図ります。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4	3	保護者要望に応じて適宜連携を図っております。	より積極的な連携を図ります。
	28	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	2	5	機会がありませんが、必要に応じて行います。	内容については事業所内で共有を行ってまいります。
	29	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	0	7	ニーズが少ないため、事業所内での実施機会がありません。	今後必要に応じて、実施を検討いたします。
	30	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7	0	主にフィードバック時にご家庭・園での様子等を伺い、共通理解を持つよう努めております。	引き続き、密にコミュニケーションが取れるように努めてまいります。
	31	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	3	家庭内の状況の聞き取りや、相談へのアドバイス等、個別に対応しております。また、HP等で情報発信もしております。	プログラムとしてのペアレントトレーニングは実施していないため、今後必要に応じて検討いたします。
	32	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7	0	契約時や変更時、または必要に応じて説明を行っています。	今後も丁寧な説明に努めます。
	33	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点から踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7	0	作成時に聞き取りを行い、保護者や本人の要望や意向の確認を行っております。	今後も要望や意向の確認をしながら作成してまいります。
保護者への説明等	34	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	7	0	面談を行い、計画内容の説明・同意を行っております。	今後も丁寧な説明に努めます。
	35	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7	0	保護者とのコミュニケーションを密に取り、相談しやすい関係性の構築に努めています。状況によっては面談の機会を設けています。	引き続き、保護者との信頼関係が構築できるように努めてまいります。
	36	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだいの同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	0	7	ニーズが少ないため、実施機会がありません。	今後必要に応じて、実施を検討いたします。
	37	こどもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	1	相談窓口を設置し、掲示の上周知をしています。契約時にもご説明をしております。	相談や申し入れがあった場合は迅速かつ適切な対応に努めます。

	38	定期的に通信等を行うことや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	7	0	HPに「そら通信」を掲載し、事業所の活動紹介や、自己評価結果の発信を行っております。	今後も情報発信の充実と周知に努めてまいります。
	39	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7	0	個人情報書類は鍵付きの書庫で管理しております。また、フィードバック等は他の保護者との距離をとり実施しております。	今後も個人情報が記載された書類の取り扱いや、フィードバック時の距離などに留意いたします。
	40	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7	0	絵カードや文字での提示など、理解度に合わせた提示の仕方を工夫しています。保護者の方とは日頃からコミュニケーションを取るよう心がけています。	引き続き、より良い支援ができるように努めてまいります。
	41	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	6	イベント等で地域のお店を利用するなど地域交流を図っています。HPやSNSで活動の紹介をするなど、地域や一般の方に向けても情報発信をしています。	今後も、地域に開かれた事業所運営ができるよう努めてまいります。
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	0	各種マニュアルは待合室に備え付けてあります。また、避難訓練に加え、感染症や防犯なども職員間でシミュレーション訓練を行っております。	引き続き、訓練等の実施と内容の周知を行ってまいります。
	43	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7	0	定期的に避難訓練やその他研修、マニュアルの読み合わせ等を行っております。	引き続き、訓練等の実施と内容の周知を行ってまいります。
	44	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7	0	フェイスシートや発作時対応シートを提出いただき、毎年確認しています。	てんかん等の対応について職員間で周知できるようにしていきます。
	45	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	2	食事の提供はありませんが、アレルギーの有無・内容についてはフェイスシートに記入の上ご提出いただいております。	飲食のイベント等は、併せてアレルギーの有無を確認いたします。
	46	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7	0	安全計画を策定し、計画に沿って社内で研修や訓練を行っております。	引き続き、安全に留意し支援を行ってまいります。
	47	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7	0	熱中症の注意喚起など、何かお知らせすべき事項がある際は、掲示やメール等で周知しております。	引き続き、内容の周知を図っていきます。
	48	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7	0	日々の打ち合わせの中で共有・対応の検討を行っております。また、ヒヤリハット報告書を作成しております。	引き続き、安全に留意し支援を行ってまいります。
	49	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7	0	定期的に虐待防止研修を実施しています。また、必要に応じて児童相談所・子ども家庭支援センターやその他の関係機関と連携を図っております。	引き続き関係機関との連携を図りつつ、定期的に研修を実施してまいります。
50	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	7	0	職員に対し、内容周知のための研修を行っております。今年度対象児童は居りません。	今後必要な場合には十分に検討し、丁寧な説明を行うとともに身体拘束の適正化に努めます。	